

# コロナとデマ オンライン議論

## 清風高生らNIE活動

新聞を教育に活用するNIE活動として、清風高校（大阪市天王寺区）の生徒や教諭らが「新型コロナウイルスの感染拡大とデマ情報」をテーマに、産経新聞などの記事を活用して社会現象の読み解きやコミュニケーション力向上を目指すオンライン授業を行った。

清風学園の藤浦淳常勤顧問が主催する「新聞塾」の授業の一環。休校中のため生徒や教諭、産経新聞社会部の杉侑里香記者ら14人がインターネットのビデオ会議サービス「Zoom」を利用して参加した。

生徒らは産経新聞に掲載された「コロナ不安 デマや嘘拡散」などの記事を読み、自分たちの身近な場所でもフェイクニュースの影響でトレットペーパーが品薄になるなどの影響を経験したことを紹介。「自粛が長引いて不安になり、デマが広まりやすくなるのは」などと話し合った。

SNSでのデマをどう防ぐかという議題では、法規制の必要性を指摘する意見に対し、表現の自由も大切にすべきだという考えも。生徒の一人はデマを流さず、信じないためには「それぞれが情報リテラシー（読み解く力）を高めることが重要」と話した。